

1. 主のみな名にもよれなるつどいての
2. 主のみな名にもよれなるつどいての
3. 主のみな名にもよれなるつどいての
4. 主のみな名にもよれなるつどいての

うみたひ ちたがに ゑに ゑに ゑに ゑに ゑに ゑに ゑに ゑに
みたひ たがに ゑに ゑに ゑに ゑに ゑに ゑに ゑに ゑに

みあためまに しるき たくご がふ うく めち ぐか みら を
あためまに しるき たくご がふ うく めち ぐか みら を

あゆの らた たに そそ そそ ぎぎ たた まま ええ やや
あゆの らた たに そそ そそ ぎぎ たた まま ええ やや

願わくは主があなたを祝福し、あなたを守られるように。
願わくは主がみ顔をもってあなたを照し、あなたを恵まれるように。
願わくは主がみ顔をあなたに向け、あなたに平安を賜わるように。

5

この罪^{つみ}の世^よにて 主^{きみ}よ世^よの君^{きみ}より
かれ^{かれ}を^{まも}守り こよなき愛^{いと}しき
神の子らとして 立^たたせたまえや。

6

主^{また}よなれに全^{おのれ}く 己^{おのれ}をささげし
なが僕^{しもべ}らを 苦^{くる}しみ越^こえしめ
いよよ魂^{たましい}を 聖^{きよ}めたまえや。

7

主^{もの}よなが者^{もの}らを なれの心^{こころ}にぞ
なら^{なら}習^{なら}わせたまえ。へりくだるなれと
とも^{とも}共^{とも}なる命^{いのち}に 生^{なま}きさせたまえ。

8

主^{われ}は彼^{かれ}らのため とりなしをわれに
のぞ^{のぞ}望^{のぞ}みたまえる。われはただ神^{かみ}の
あわれみのみにぞ 彼^{ゆだ}らを委^{ゆだ}ねん。

9

主^{われ}よ彼^{かれ}らをして ただなれにありて
喜^{よろこ}びいだき なが愛^{あい}によれる
また^{また} たの^{たの}全^いき楽^いしみに 生^{なま}きさせたまえ。

10

主^{われ}よなが死^しにより なれが勝^かち得^えたる
われら^{まも}を^あ守り 荒^あれ野^のの旅^{たび}路^じを
と^と遂^とぐるまで共^{とも}に ましましたまえ。

11

いつしかわれらが すべての罪^{つみ}より
また^{また} あら^{あら}全^{みくに}く洗^{みくに}われ 御^{みくに}国^{くに}につどいて
主^{とわ}よなれと永^{とわ}久^{いこ}に 憩^{いこ}わせたまえ。